

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス イーリス

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

10 日

法人（事業所）理念		職員、利用者さんとその家族の幸せを追求し『福祉』を通じ社会に貢献し続けます。					
支援方針		・児童発達支援と放課後等デイサービスを組み合わせ、発達段階を見据えた長期的な支援を行います。遊びを通じた学びや体験の場を提供し、お子さまの興味や意欲を引き出します。専門職が連携して支援を提供します。医療や福祉、教育機関とも連携し、必要な支援が漏れないよう調整します。地域の中で自立的に生活する力を育みます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○日常生活の基礎となる健康維持や生活習慣の支援を行います。 ・体調管理…健康チェック(体温測定、体調観察)や、病気の予防(手洗いうがい指導) ・衛生習慣…衣服の着脱やトイレトレーニングの習得、身の回りを整えるお手伝いをします。 ・食事の支援…食具の使い方、好き嫌いを大切にしながら、楽しく食べる時間を作ります。					
	運動・感覚	○体を動かす力や感覚の統合を促進し、身体的発達を支援します。 ・粗大運動…ボール遊びや体幹やバランス感覚を育成。 ・微細運動…お箸や鉛筆の使い方、ブロックや積み木を使用し、手先を使う遊びを楽しみます。 ・体力向上…お散歩や公園で自然に触れながら、のびのびと体を動かします。					
	認知・行動	○問題解決力や集中力、行動のコントロールを支援します。 ・パズルやカードゲームでの考える遊び(認知力の向上)、みんなで遊ぶ中で順番やルールを学ぶ(行動の調整)、簡単な課題からスタートし「できた!」と思える体験(課題遂行能力)を増やします。 ・絵カードやスケジュールボードを使い、次の行動がわかるよう安心して進めるように工夫します。					
	言語 コミュニケーション	○言葉や非言語的手段(身振り・指差し・サイン・ジェスチャー)を通じて、意志の表現や他者とのやり取りを支援します。 ・絵本や歌を通じて言葉を増やしたり、身振り手振りや表情を使った意思表示、質問や返事、あいさつなどの基本的な会話スキルを学びます。 ・簡単な物語を通じて言葉の流れや意味を理解するストーリー理解や、必要に応じてタブレット等のコミュニケーションツールを利用します。					
	人間関係 社会性	○他者との関わり方を学び、社会生活に必要なスキルを育てます。 ・おはよう、ありがとうなどの基本的な礼儀を学び、人と関わる楽しさを伝えます。 ・自分の気持ちや希望を適切に伝えられるよう、自分らしさを大切にすることをお手伝いします。 ・公共施設やイベントへの参加を通じた社会経験の提供。					
家族支援		○発達や行動についての悩み相談や、保護者が抱えるストレスや不安に寄り添う心理的サポート、関係機関との橋渡しや、きょうだい支援など、ご家族の不安を軽減し、安心してお子さまやご家族を支えられる環境を作ります。			移行支援		○お子さまやご家族が次のステップ(学校生活、就労、地域生活など)に移行できるように、幼稚園や保育園、学校や職場と連携し、安心して新しい環境に適応できるようサポートを行います。
地域支援・地域連携		○地域の支援者との情報共有や、支援機関との連携、お子さまやご家族の状況を地域全体で共有し、必要な支援をスムーズに提供できる体制を作ります。地域全体で支え合い、安心して過ごせる環境を整えます。			職員の質の向上		○毎月ミーティングを行い意見交換や課題解決、事例検討や実践的な内容を含む研修を行っています。チームで支え合う環境を大切にし、リフレッシュできる環境を整備。休暇所得を推奨しています。
主な行事等		○いちご狩り、夏祭りなどの毎月行う季節の行事。 ○避難訓練は、地震・火災・防災・水の危険性・雪の危険性・交通安全・安全点検・不審者対応などのテーマに沿って、毎月実施。					